OpenRTM-aist (C++) - バグ #320

親RTCが存在しないExecutionContextを削除する

2009/01/10 19:16 - n-ando

ステータス:	終了	**開始日:**	2009/01/10
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	n-ando	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

現在のManagerはRTCがexitするなどして削除された場合でも、生成時にattachされたExecutionContextは削除されずに残る仕様となっている。
RTC1.0からは、ECは必ず親RTCの保持されることになっているので、親RTCが削除されるときにExecutionContextもManagerに依頼して削除するようにすべきである。

履歴

#1 - 2010/01/12 11:36 - n-ando

- ステータス を 新規 から 終了 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

RTObject::finalizeContext() にて削除するように変更した。